

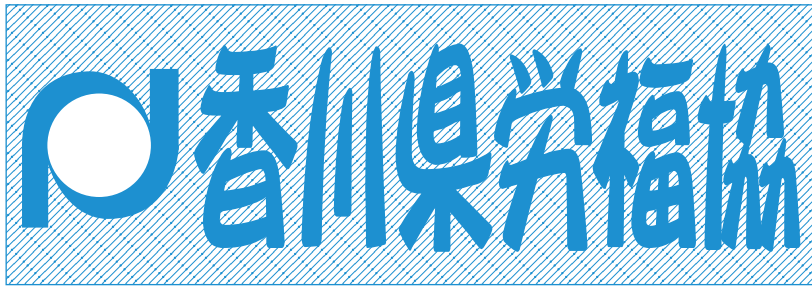
香川県労福協機関紙

No. 211号

四国労働金庫

こくみん共済coop

連合香川



(一社)香川県労働者福祉協議会

高松市番町3-5-15

四国労金番町ビル

TEL 087-833-4253

FAX 087-833-4255

発行責任 福家良一

編集責任 熊野浩信

**香川県労福協・こくみん共済coop・四国労働金庫の活動・取り組み
について報告します。(2026年4月～2026年8月)**

香川県労福協 第16回通常総会を開催

**労働組合や福祉事業団体との連携をさらに強め、
支え合い・助け合いを軸とした福祉社会の実現に向けた取り組みの強化を確認
～2026年度事業活動計画等を満場一致で承認～**

香川県労働者福祉協議会は、2026年5月25日、事業団体会員と労働団体正会員24名（委任状12団体）が出席して第16回通常総会を開催しました。来賓として、香川県商工労働部渡邊篤志次長、高松市創造都市推進局中濱淳史産業経済部長、香川県経営者協会釜野清登業務部長に出席いただき激励の挨拶を受けました。

通常総会は、橋本副会長の開会あいさつで始まり、議長に片山代議員（連合香川）を選出し議事に入りました。

冒頭、福家会長より「今年も一定の賃上げは続いているが、物価上昇も含め勢いをそぐ事象が、戦争・紛争を下に起こっていることが残念でならない。平和なくして労福協のめざす、働く人と家族のゆとり・豊かさも実現しない。労福協の立場でも、平和そして連帯・団結を求めている。

2025年度も各方面の団体と連携し労働者福祉運動を進めてきた。2026年度もみなさんが安心して働き暮らせる一助となる取り組み

を続けたい。」と、主催者代表の挨拶を行いました。

総会では、『2025年度事業活動報告』『決算報告』『会計監査報告』、『2026年度事業活動計画案』ならびに『2026年度予算案』が審議され、全議案とも承認されました。

また、『役員一部改選』も行われ、2026年度新役員体制が確認されました。

香川県労福協2026年度役員一覧

会 長	福家良一	会員団体	連合香川
副会長	豊田雅人	会員団体	こくみん共済coop
副会長	橋本文弘	会員団体	四国労働金庫
専務理事	熊野浩信	会員団体	労福協
理 事	門 裕介	会員団体	連合香川
理 事	立石 猛	会員団体	連合香川
理 事	小野賢治	会員団体	平和労組会議
理 事	池畑章伸	会員団体	高松地区労
理 事	好井徳之	会員団体	四国労働金庫
理 事	大淵康宏	会員団体	こくみん共済coop
理 事	久保武士	地区労福協	東讃地区
監 事	毛利珠代	地区労福協	中讃地区
監 事	藤島良次	地区労福協	西讃地区



香川サポートネットワーク(グッド・らいふ)活動報告

第15回定期総会

香川サポートネットワーク(グッド・らいふ)は、2026年5月25日、マリンパレスさぬきにおいて、会員19名(委任状37会員)が出席のもと、第15回定期総会を開催しました。

定期総会は、白石運営委員長の開会あいさつで始まり、議長に高森代議員(全労済労組)を選出し議事に入りました。

冒頭、福家代表委員(香川県労福協)より「昨年度は8つのイベントに700人余りの方に参加いただき、多くの子どもたちの笑顔と元気な声を聴かせていただいた。さらに喜んでいただけるよう運営方法等改善していきたい。そして、グッド・らいふの目的である『勤労者の働きがい・生きがいの創出並びに中小企業の活性化に寄与すること』のために引き続き努力していきたい。」と、主催者代表の挨拶を行いました。

総会では、『2025年度活動報告』『決算報告』『会計監査報告』、『2026年度活動計画案』ならびに『2026年度予算案』、『役員改選案』が審議され、全議案とも承認されました。



第1回ふれあいファミリーキッチン

日 時 2026年7月11日(土)
場 所 高松市仏生山交流センター
参加者 21名(大人11名・子ども5名・スタッフ5名)

当日は多くの親子・夫婦の方に参加いただき、「学校給食メニューに挑戦しよう!!」をテーマに、『麦ごはん・鰯の香味ソースかけ・野菜

の胡麻ドレッシング和え・オリーブ豚汁』を和やかな雰囲気の中、協力しながら調理しました。今回のメニューは「第19回全国学校給食甲子園」で高松市の給食献立が準優勝となったものです。

家族(親子)で料理作りをすることで、家事労働の大変さ、そして、協力することの大切さも実感できるものとなりました。



2026年度 西部労福協 『第11期 労働者自主福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座』を受講して

こくみん共済 coop 香川推進本部

綾野真実子

以前、当会の研修で協同組合の歴史を学びましたが、今回はより広く、労働組合と労働金庫の歴史を踏まえて、共済を含む労働者自主福祉運動について学び直すことができました。

歴史を知ることで、共済事業体としての当会と労働組合が「業者とお客」ではなく、労働金庫と自分自身もまた「業者とお客」ではないのだとあらためて自覚することができ、自分にとって大変実りのある研修となりました。

講義の冒頭に聞いた、「振り返れば未来が見える」という言葉が深く印象に残っています。

歴史を学ぶことで、より良い未来に向けて正しい選択をすることができる。未来に向けて正しい選択をするためには、歴史を学ぶ必要があるということだと思います。

労働者自主福祉運動の歴史からは、人が平和でより良い生活を送るためには助け合いが必要であること、しかし「助け合うこと」が人にとっていかに難しいかを読み取ることができます。

これからの日本は、経済格差だけでなく、民族・文化・宗教の違いから生まれる摩擦を抱えた社会になっていくと予想され、助け合うことがますます難しくなるかもしれません。なおのこと、賀川豊彦氏の協同組合中心思想7か条や、イデオロギーを超えて協力する「福祉はひとつ」の考え方が必要とされるようになるでしょう。

“古くても正しいものはいつも新しい”と言われるように、これからの時代の若者には、伝え方を工夫すれば、むしろ新しい考え方として受け入れられる可能性があるかと強く感じました。

2日目の分散会で、20代の参加者が「押し付けられるのではなく自分で調べて納得したも

のを選びたい」と言いながら「強引にでも誘ってくれたら否定はしない。参加すれば賛同するきっかけになる」とも言っていました。

講義の中にも「理屈では変わらない、感動が人を変える」という言葉がありましたが、労働運動も共済も知らない若い組合員の興味を引き、心を動かせるような、熱量のある言葉で伝えながら、最初は強引に思われても最後は賛同を得られることを信じ、労働者自主福祉運動を推進していきたいです。

四国労働金庫 本店営業部

湯藤 達也

2日間の講座では、これまでの知識に追加で細かい知識がついたことが大きいと感じています。労働金庫、こくみん共済coopの成り立ち等については自ら説明することもありある程度の知識はありましたが、法案に携わっていることや細かい労組とのつながりまでは知りませんでした。新たな知識がついたことで、これからの仕事においても役立つことがあったので活かしていきます。

また、労福協の成り立ち・活動について知れたのも良かったです。そもそも、労福協の成り立ちや存在意義を知らなかったので細かい説明がなされており勉強になりました。活動として、個人的に関心が沸いたのは奨学金の取り組みです。近年、奨学金の金利がうなぎ上りで上昇していることは金融機関に勤務して関心があることから知識はありますが、一般の方からすれば無関心と感じております。そういった方々に発信するツール作りや法案の改正を求めたりする活動は非常に社会的にも有意義な活動であると感じました。



四国労働金庫「第26回通常総会」の開催

2026年6月25日（木）に「第26回通常総会」を開催し、2025年度事業報告および2026年度事業計画等の全議案が承認され、「働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉

金融機関」として、会員・お客様の負託に応え得る経営管理態勢の構築と経営改革を目指し、役職員一丸となり事業推進に取り組んでおります。



2025年度四国ろうきん1万人笑顔プロジェクト

2018年度より、「SDGs 17ゴール」の実現に向けて「四国ろうきん1万人笑顔プロジェクト」に取り組んでいます。この取り組みは、ご利用いただいたローン1件につき100円を拠出し、お客さまに代わって寄付するものです。

2025年度は、取組期間（2025年4月～2026年3月）が終了し、寄付金額は594,100円（2018年度からの累計金額は4,648,800円）となりました。また、寄付先は、お客さまに選択いただいた「教育」「子育て支援」「障がい者支援」「環境保護」関係の団体に贈呈しました。



〔香川地区寄付金目録贈呈式の概要〕

- ・日時（場所）：2026年6月8日（月） 午後3時30分～
- ・寄付先：公益財団法人 香川県身体障害者団体連合会
- ・寄付先の活動内容：障がい者の社会参加推進等支援
- ・寄付金額：119,800円

こくみん共済coop

子どもの健全育成の取り組み報告

こくみん共済coopでは、香川県労福協および各協力団体との社会貢献に関する共創活動として、「こどもの成長応援プロジェクト」と「7才の交通安全プロジェクト」を実施しています。

「こどもの成長応援プロジェクト」では、こくみん共済のこども保障タイプへのご加入1件につき、なわとび・長なわとびを1本寄贈しています。また、「7才の交通安全プロジェクト」では、マイカー共済のお見積り1件につき横断旗を1本寄贈しています。



地区推進会議をはじめ、組合員の皆さまのご賛同とご協力により、多くの横断旗となわとび・長なわとびを香川県教育委員会へ寄贈することができました。このたび、両プロジェクトの取り組みの一環として、寄贈式を下記のとおり執り行いましたのでご報告いたします。

■寄贈日：2026年6月8日（月）

■寄贈先：香川県教育委員会

今後も協力団体や組合員、地域の皆さまと連携しながら、子どもたちの健やかな成長を支える取り組みを継続してまいります。

なお、「7才の交通安全プロジェクト」「こどもの成長応援プロジェクト」は2026年度も引き続き実施いたします。皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

7才の交通安全プロジェクト

■香川推進本部における「横断旗」の寄贈（2025年6月～2026年5月）

寄贈先	寄贈日	寄贈本数
香川県教育委員会	2026年6月8日	1,973本


こどもの成長応援プロジェクト

■香川推進本部における「なわとび・長なわ」の寄贈（2025年6月～2026年5月）

寄贈先	寄贈日	寄贈本数
香川県教育委員会	2026年6月8日	162本



第9回こくみん共済coop組合員代表者会議を開催

こくみん共済coop香川推進本部は、7月29日(水)、マリnpレスさぬぎにおいて「第9回こくみん共済coop組合員代表者会議」ならびに「第70回香川労済生活協同組合通常総代会」を開催しました。

当日は、2025年度の活動報告および2026年度事業計画をはじめとするすべての議案について審議が行われ、いずれも原案どおり承認されました。

また、共済活動を通じて、組合員の自主福祉

活動の推進に積極的に取り組まれ、その発展に大きく貢献された協力団体に対し、表彰状ならびに記念品の贈呈を行いました。

今総代会においてご承認いただいた新年度事業計画に基づき、役職員一同、目標達成に向けて全力で取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますとともに、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



グッド・らいふ

「ふれあい町おこしin塩江」を開催

2026年8月29日(土)、高松市塩江町「モモの広場」において『ふれあい町おこしin塩江』を開催しました。今年も酷暑の中での開催となりましたが、昨年と同規模の90名(大人34人・子ども33人・スタッフ23名)の参加を得て、盛大に開催することができました。そうめん流しとそうめん用の竹の器作り、バーベキュー、そして川遊び体験をゆったりした自然の中で、ゆっくりと流れる時間を味わいながら満喫することができました。

参加者同士の交流も図れたようで、子ども同

士が楽しく遊んでいる姿は微笑ましいものでした。特に川遊び体験は子どもたちに大好評で、小魚とか沢蟹を捕まえて大はしゃぎでした。

また、思いのほか竹の器作りも子どもたちに大好評で、慣れない手つきで器を作り、自分作った器で美味しそうにそうめんを食べていました。

今後も自然豊かな中でゆったりと流れる時間を感じながら、体験型イベントとして開催していきます。

